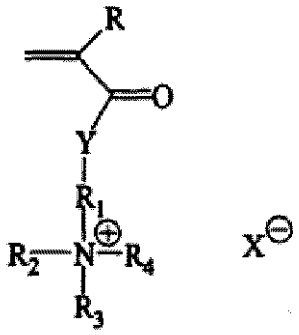
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成19年7月12日(2007.7.12)

【公開番号】特開2001-2535(P2001-2535A)
【公開日】平成13年1月9日(2001.1.9)
【出願番号】特願2000-157243(P2000-157243)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　8/00　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　5/02　(2006.01)
Ａ６１Ｑ　5/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/14　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/26　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　3/37　(2006.01)
Ｃ１１Ｄ　17/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　7/075
Ａ６１Ｋ　7/06
Ａ６１Ｋ　47/34
Ａ６１Ｐ　17/06
Ａ６１Ｐ　17/08
Ａ６１Ｐ　17/10
Ａ６１Ｐ　17/14
Ｃ１１Ｄ　3/26
Ｃ１１Ｄ　3/37
Ｃ１１Ｄ　17/00

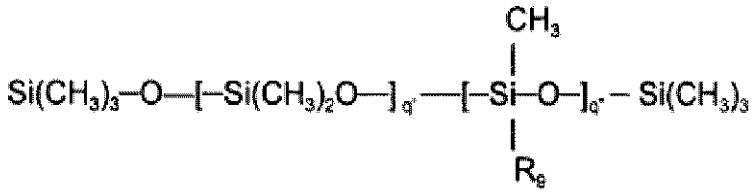
【手続補正書】
【提出日】平成19年5月24日(2007.5.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
クレンジング組成物において、
ａ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
ｂ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤と、
ｃ）少なくとも１種類の洗浄剤と、
を含む、
組成物。
【請求項２】
請求項１に記載の組成物において、
前記水溶性シリコーン剤は、脂肪族部分、水溶性シリコーンクオタニウム、およびそれらの混合物で置換される、水溶性ジメチコーンから選択される、組成物。

【請求項３】
請求項１に記載の組成物において、
前記水溶性シリコーン剤は、シリコーンクオタニウム１３、セチルトリエチルモニウムジメチコーンコポリオールフタレート、ステアラルコニウムジメチコーンコポリオールフタレート、またはそれらの混合物を含む、組成物。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか１項に記載の組成物において、
前記カチオン性状態調節剤は、カチオン性セルロース誘導体、カチオン性グア誘導体、カチオン性モノマーのホモポリマーまたはコポリマー、およびそれらの混合物から成る群から選択され、
前記カチオン性モノマーの前記ホモポリマーまたはコポリマーは、
ａ．以下の化学式を有するモノマーであって、



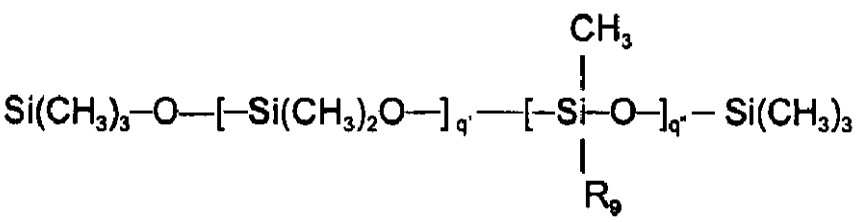
式中
、
Ｒは、Ｈ、またはＣＨ$_3$であり、
Ｙは、Ｏ、またはＮＨであり、
Ｒ$_1$は、２～６個の炭素原子を有するアルキレン基であり、
Ｒ$_2$，Ｒ$_3$，およびＲ$_4$は、それぞれ別個に、１～２２個の炭素原子を有する、アルキル基またはヒドロキシアルキル基であり、
Ｘは、１～４個の炭素原子を有するハロゲン化物およびアルキル硫酸塩から選択される、１価のアニオンである、モノマー、もしくは、
ｂ．ジアリルジメチルアンモニウムクロライド、
から選択される、組成物。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか１項に記載の組成物において、
少なくとも一つの有効な薬剤、
をさらに含む、
組成物。
【請求項６】
請求項５に記載の組成物において、
前記有効な薬剤は、エルビオール、6-(1-ピペリジニル)-2,4-ピリミジンジアミン-3-オキシド、シェール油およびその誘導体、フィナステリド、ケトコナゾール、サリチル酸、ジンクピリチオン、コールタール、過酸化ベンゾイル、硫化セレン、ヒドロコルチゾン、硫黄、メントール、塩酸プラモキシン、塩化トリセチルアンモニウム、ポリクオタニウム１０、パンテノール、パンテノールトリアセテート、ビタミンＡおよびその誘導体、ビタミンＢおよびその誘導体、ビタミンＣおよびその誘導体、ビタミンＤおよびその誘導体、ビタミンＥおよびその誘導体、ビタミンＫおよびその誘導体、ケラチン、リジン、アルギニン、加水分解した小麦タンパク、加水分解したシルクタンパク、オクチルメトキシシナメート、オキシベンゾン、ミノキシジル、二酸化チタン、二酸化亜鉛、レチノール、エリスロマイシン、トレチノイン、およびそれらの混合物から成る群から選択される、組成物

。
【請求項７】
請求項１～６のいずれか１項に記載の組成物において、
懸濁剤、
をさらに含む、
組成物。
【請求項８】
請求項１～７のいずれか１項に記載の組成物において、
シャンプー、ジェル、入浴剤、クリーム、ローション、またはムースの形態とする、組成物。
【請求項９】
毛髪、爪、および頭皮の内部および／または、それらの表面上に有効な薬剤を供給するための供給システムにおいて、
ａ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
ｂ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤と、
を含む、
システム。
【請求項１０】
アクネを治療するための方法において、
組成物を、当該組成物の全重量に基づいて、人間または動物に対して所望の領域に局所的に投与する工程、
を含み、
前記組成物は、
Ａ.供給システムであって、
ｉ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤、および、
ｉｉ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤、
を含む、供給システム、ならびに、
Ｂ.有効量の抗アクネ用の活性薬剤、
を含み、
前記水溶性シリコーン剤は、セチルトリエチルモニウムジメチコーンコポリオールフタレート、ステアラルコニウムジメチコーンコポリオールフタレート、各種ジメチコーンポリオール、ジメチコーンコポリオールアセテート、ジメチコーンコポリオールラクテート、ジメチコーンコポリオールラウレート、ジメチコーンコポリオールメチルエーテル、ジメチコーンコポリオールオクチルドデシルシトレート、加水分解した大豆タンパク／ジメチコーンコポリオールアセテート、ジメチコノール、およびこれらの混合物から成る群から選択され、
前記各種ジメチコーンコポリオールは、以下の構造式を有し、



式中、
q'は、約１～約７０００の整数であり、
q"は、約１＝約５０００の整数であり、
R_9は、
（ｉ）約８個～約３０個の炭素原子を有する脂肪族アルコール、
（ｉｉ）約８個～約３０個の炭素原子を有する脂肪酸およびその誘導体、

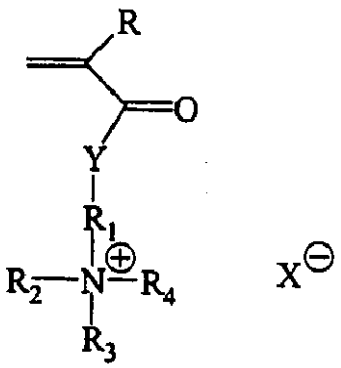
（ｉｉｉ）架橋した水溶性ポリマー、
（ｉｖ）カチオン性部分、
（ｖ）プロピルＰＧ－ベタイン、および
（ｖｉ）ポリペプチド、から成る群から選択される、方法。
【請求項１１】
有効な薬剤の付着性を高める方法において、
人間または動物に組成物を局所的に投与する工程、
を含み、
前記組成物は、
a)供給システムであって、
ｉ)グアヒドロキシプロピルトリモニウムクロリド、塩化アクリルアミノプロピルトリモニウム/アクリルアミドコポリマー、およびそれらの混合物から成る群から選ばれる、少なくとも二種類のカチオン性状態調節化合物、ならびに、
ｉｉ)シリコーンクオタニウム-１３を含む、少なくとも一つの水溶性シリコーン化合物、
を含む、供給システム、ならびに、
b)皮膚、毛髪、および/または爪の所望の位置に対して有効な量の前記有効な薬剤、
を含む、
方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８０】
本発明の実施態様は以下の通りである。
（Ｉ）　（ａ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
（ｂ）少なくとも１種類のカチオン性薬剤と、
（ｃ）少なくとも１種類の洗浄剤とから成る洗浄用組成物。
（１）前記水溶性シリコーン剤が脂肪酸部分を含む水溶性ジメチコーン、水溶性シリコーンクォーターニウム、およびこれらの混合物から選択される実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（２）　前記ジメチコーンが約５個乃至約３０個の炭素原子を有する脂肪酸から選択される脂肪酸部分により置換されており、前記シリコーンクォーターニウムが約６個乃至約２０個の炭素原子を含有している実施態様（１）に記載の組成物。
（３）　前記水溶性のシリコーン剤が揮発性であり、当該揮発性シリコーン剤がポリジメチルシロキサン、ヘキサメチルジシロキサン、シクロメチコーン流体、およびこれらの混合物から成る群から選択される実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（４）　前記水溶性のシリコーン剤が不揮発性であり、当該不揮発性シリコーン剤がセチルトリエチルモニウムジメチコーンコポリオールフタレート、ステアラルコニウムジメチコーンコポリオールフタレート、以下の構造式Iのジメチコーンポリオール、
【化７】



I.

式中において、

ｑ’は約１乃至約７０００の整数、
ｑ”は約１乃至約５０００の整数、
R_9は、
（ａ）約８個乃至約３０個の炭素原子を有する脂肪族アルコール、
（ｂ）約８個乃至約３０個の炭素原子を有する脂肪酸およびその誘導体、
（ｃ）メルカプトールプロピルコポリマーのような架橋した水溶性ポリマー、
（ｄ）例えば、トリモニウムクロライドのようなカチオン性部分、
（ｅ）プロピルＰＧ－ベタイン、
（ｆ）ポリサルコシンのようなポリペプチド、および
（ｇ）これらの混合物、のような任意の水溶性の基である。
ジメチコーンコポリオールアセテート、ジメチコーンコポリオールラクテート、ジメチコーンコポリオールラウレート、ジメチコーンコポリオールメチルエーテル、ジメチコーンコポリオールオクチルドデシルシトレート、加水分解した大豆タンパク／ジメチコーンコポリオールアセテート、ジメチコノール、およびこれらの混合物から成る群から選択される実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（５）　前記水溶性シリコーンクォーターニウムがシリコーンクォーターニウム－１３、シリコーンクォーターニウム－４０、クォーターニウム－８０、およびこれらの混合物から成る群から選択される実施態様（１）に記載の組成物。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８１】
（６）　前記水溶性シリコーン剤がシリコーンクォーターニウム－１３、セチルトリエチルモニウムジメチコーンコポリオールフタレート、ステアラルコニウムジメチコーンコポリオールフタレート、およびこれらの混合物を含む実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（７）　前記組成物の全重量に基づいて、（ａ）約０．００１％乃至約２０％の水溶性シリコーン剤と、（ｂ）約０．０１％乃至約１０％のカチオン性状態調節剤と、（ｃ）約０．０１％乃至約３０％の洗浄剤とにより構成されている実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（８）　前記組成物の全重量に基づいて、（ａ）約０．０１％乃至約５％の水溶性シリコーン剤と、（ｂ）約０．１％乃至約５％のカチオン性状態調節剤と、（ｃ）約５％乃至約２０％の洗浄剤とにより構成されている実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（９）　前記カチオン性状態調節剤がカチオン性セルロース誘導体、カチオン性グア誘導体、および、
（ａ）以下の構造式のモノマー、
【化８】



式中において、
ＲはＨまたはCH_3であり、

ＹはＯまたはＮＨであり、
R_1は約２個乃至約６個の炭素原子を有するアルキレン基であり、
R_2，R_3およびR_4はそれぞれ独立して約１個乃至約２２個の炭素原子を有するアルキル基またはヒドロキシアルキル基であり、
Ｘは約１個乃至約４個の炭素原子を有するハライドおよびアルキルサルフェートから選択される１価のアニオンである。または
（ｂ）ジアリルジメチルアンモニウムクロライドから選択されるカチオン性モノマーのホモポリマーまたはコポリマー、
および、これらの混合物から選択される実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（１０）　前記カチオン性状態調節剤がポリクォーターニウム－１０、グアヒドロキシプロピルトリモニウムクロライド、アクリルアミドプロピルトリモニウムクロライド／アクリルアミドコポリマーから誘導される化合物、ポリクォーターニウム－６、ポリクォーターニウム－７、ポリクォーターニウム－４７、およびこれらの混合物から成る群から選択される実施態様（９）に記載の組成物。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８２】
（１１）　前記カチオン性状態調節剤がアクリルアミドプロピルトリモニウムクロライド／アクリルアミドコポリマー、グアヒドロキシプロピルトリモニウムクロライド、およびこれらの混合物から成る群から選択される実施態様（１０）に記載の組成物。
（１２）　前記洗浄剤が界面活性剤、石鹸、またはこれらの混合物である実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（１３）　前記界面活性剤が少なくとも１種類のアニオン性界面活性剤により構成されている実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（１４）　前記洗浄剤が、当該洗浄剤の全重量に基づいて、（ａ）約１％乃至約２０％のアニオン性界面活性剤と、（ｂ）約１％乃至約１０％の両性界面活性剤と、（ｃ）約０％乃至約４％のカチオン性界面活性剤と、（ｄ）約１％乃至約７％のノニオン性界面活性剤とにより構成されている実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（１５）　前記洗浄剤が、当該洗浄剤の全重量に基づいて、（ａ）アルキルサルフェート、アルキルエーテルサルフェート、およびこれらの混合物から成る群から選択されて、当該アルキル基が約８個乃至約１８個の炭素原子を有している約８０％乃至約９５％のアニオン性界面活性剤と、（ｂ）少なくともコカミドプロピルベタインを含有する約５％乃至約１５％の両性界面活性剤とにより構成されている実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８３】
（１６）　前記洗浄剤が、当該洗浄剤の全重量に基づいて、（ａ）ソジウムＰＥＧ－７オリーブオイルカルボキシレート、アルキルサルフェート、アルキルエーテルサルフェート、およびこれらの混合物から成る群から選択されて、当該アルキル基が約８個乃至約１８個の炭素原子を有している約７０％乃至約９０％のアニオン性界面活性剤と、（ｂ）少なくともコカミドプロピルベタインを含有する約１０％乃至約２５％の両性界面活性剤と、（ｃ）約２％乃至約１０％のカチオン性界面活性剤とにより構成されている実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（１７）　さらに、少なくとも１種類の有効な薬剤から成る実施態様（Ｉ）に記載の組成

物。
（１８）　前記有効な薬剤がエルビオール、６－（１－ピペリジニル）－２，４－ピリミジンジアミン－３－オキシド、シェール油およびその誘導体、フィナステリド、ケトコナゾール、サリチル酸、亜鉛ピリチオン、コールタール、ベンゾイルパーオキシド、セレニウムスルフィド、ヒドロコルチゾン、硫黄、メントール、プラモキシンヒドロクロライド、トリセチルアンモニウムクロライド、ポリクォーターニウム－１０、パンテノール、パンテノールトリアセテート、ビタミンＡおよびその誘導体、ビタミンＢおよびその誘導体、ビタミンＣおよびその誘導体、ビタミンＤおよびその誘導体、ビタミンＥおよびその誘導体、ビタミンＫおよびその誘導体、ケラチン、リジン、アルギニン、加水分解した小麦タンパク、加水分解したシルクタンパク、オクチルメトキシシンナメート、オキシベンゾン、ミノキシジル、二酸化チタン、酸化亜鉛、レチノール、エリスロマイシン、トレチノイン、およびこれらの混合物から成る群から選択される実施態様（１７）に記載の組成物。
（１９）　さらに、前記組成物の全重量に基づいて、約０．００１％乃至約２０％の有効な薬剤から成る実施態様（１７）に記載の組成物。
（２０）　さらに、懸濁剤から成る実施態様（１７）に記載の組成物。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８４】
（２１）　前記組成物が、当該組成物の全重量に基づいて、約０．０１％乃至約５％の懸濁剤により構成されている実施態様（２０）に記載の組成物。
（２２）　前記懸濁剤がカーボマー、ヒドロキシエチルセルロース、１，９－デカジエンポリＶＭ／ＭＡ（ＰＶＭ／ＭＡデカジエンクロスポリマー）により架橋したメチルビニルエーテル／無水マレイン酸コポリマー、およびアクリレート／アミノアクリレートＣ１０－３０アルキルＰＥＧ－２０イタコネートコポリマー、およびこれらの混合物から成る群から選択される実施態様（２０）に記載の組成物。
（２３）　シャンプー、ゲル、入浴剤、クリーム、ローションまたはムースの形態である実施態様（Ｉ）に記載の組成物。
（２４）　皮膚、毛髪および／または爪を洗浄するための実施態様（Ｉ）に記載の組成物の使用方法。
（ＩＩ）　毛髪、爪、および頭皮の内部および／または外部に有効な薬剤を供給するための供給システムにおいて、
（ａ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
（ｂ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤とから成る供給システム。
（２５）　前記供給システムが、当該供給システムの全重量に基づいて、（ａ）約０．００１％乃至約１０％の少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、（ｂ）約０．００１％乃至約５％の少なくとも１種類のカチオン性状態調節用化合物により構成されている実施態様（ＩＩ）に記載の供給システム。
【手続補正７】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８５】
（２６）　前記水溶性シリコーン剤がシリコーンクォーターニウム－１３、セチルトリエチルモニウムジメチコーンコポリオールフタレート、またはこれらの混合物を少なくとも含有しており、前記カチオン性状態調節剤がグアヒドロキシプロピルトリモニウムクロラ

イド、アクリルアミドプロピルトリモニウム／アクリルアミドコポリマー、またはこれらの混合物を少なくとも含有している実施態様（ＩＩ）に記載の供給システム。
（ＩＩＩ）　（ａ）（ｉ）グア・ヒドロキシプロピルトリモニウムクロライド、アクリルアミドプロピルトリモニウムクロライド／アクリルアミドコポリマー、およびこれらの混合物から成る群から選択される少なくとも２種類のカチオン性化合物と、
（ｉｉ）シリコーンクォーターニウム－１３から成る少なくとも１種類の水溶性シリコーン化合物と、
（ｂ）有効量の活性な薬剤とにより構成される組成物を皮膚、毛髪、および／または爪の所望の場所に人間または動物に対して局所的に投与することから成る有効な薬剤の付着性を向上するための方法。
（２７）　前記有効な薬剤がエルビオール、シェール油およびその誘導体、６－（１－ピペリジニル）－２，４－ピリミジンジアミン－３－オキシド、フィナステリド、ケトコナゾール、サリチル酸、亜鉛ピリチオン、コールタール、ベンゾイルパーオキシド、セレニウムスルフィド、ヒドロコルチゾン、硫黄、メントール、プラモキシンヒドロクロライド、トリセチルアンモニウムクロライド、ポリクォーターニウム－１０、パンテノール、パンテノールトリアセテート、ビタミンＡおよびその誘導体、ビタミンＢおよびその誘導体、ビタミンＣおよびその誘導体、ビタミンＤおよびその誘導体、ビタミンＥおよびその誘導体、ビタミンＫおよびその誘導体、ケラチン、リジン、アルギニン、加水分解した小麦タンパク、加水分解したシルクタンパク、オクチルメトキシシンナメート、オキシベンゾン、ミノキシジル、二酸化チタン、酸化亜鉛、レチノール、エリスロマイシン、トレチノイン、およびこれらの混合物から成る群から選択される実施態様（ＩＩＩ）に記載の方法。
（２８）　前記組成物がさらに洗浄剤により構成されている実施態様（ＩＩＩ）に記載の方法。
（ＩＶ）　（ａ）（ｉ）グア・ヒドロキシプロピルトリモニウムクロライド、アクリルアミドプロピルトリモニウムクロライド／アクリルアミドコポリマー、およびこれらの混合物から成る群から選択される少なくとも２種類のカチオン性化合物と、
（ｉｉ）セチルトリエチルモニウムジメチコーンコポリオールフタレートから成る少なくとも１種類の水溶性シリコーン化合物と、
（ｉｉｉ）親水性の有効な薬剤とから成る有効量の供給システム組成物を人間または動物の毛髪の所望の場所に局所的に投与する工程から成る毛髪繊維上にコンデイショナの薄い被膜を付着させるための方法。
（Ｖ）　Ａ．（ｉ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
（ｉｉ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤とにより構成される供給システムと、
Ｂ．有効量の脱毛治療剤とから成る組成物を、当該組成物の全重量に基づいて、脱毛治療を要する所望の領域に人間または動物に対して局所的に投与する工程から成る脱毛治療のための方法。
（２９）　前記組成物がさらに洗浄剤により構成されている実施態様（Ｖ）に記載の方法。
（３０）　前記脱毛治療剤がミノキシジル、Ｎ”－シアノ－Ｎ－（tert－ペンチル）－Ｎ’－３－ピリジニル－グアニジン、ジアゾキシド、ビタミンＥ、ビタミンＣ、ビタミンＥアセテート、ビタミンＣパルミテート、エリスロポエチン、プロスタグランジンＥ１、プロスタグランジンＦ２－アルファ、オレイン酸、熱ショックタンパク２７（「ＨＳＰ２７」）、熱ショックタンパク７２（「ＨＳＰ７２」）、ベラパミルＨＣＬ、ニフェジピン、ジルチアゼムアミロリド（diltiazemamiloride）、シクロスポリン、Ｆｋ－５０６、フィナステリド、１７－ベータエストラジオール、ＥＧＦ、ＩＧＦ、ベノキサプロフェン、トレチノイン、ＩＬ－６、ＩＬ－１アルファおよびＩＬ－１ベータ、ＩＣＡＭ、ベータメタゾン、アロエ、チョウジ油、ニンジン、レーマニア（rehmannia）、スベルチア（swertia）、スイートオレンジ、サンショウ、エルビオール、ケトコナゾール、亜鉛ピリチオン、

ストレプトマイシン、シクロヘキシミド、またはこれらの混合物から選択される実施態様（Ｖ）に記載の方法。
【手続補正８】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８６】
（３１）　前記脱毛治療剤が６－（１－ピペリジニル）－２，４－ピリミジンジアミン－３－オキシド、Ｎ”－シアノ－Ｎ－（tert－ペンチル）－Ｎ’－３－ピリジニル－グアニジン、レチノイドおよびその誘導体、フィナステリド、ミノキシジル、ケトコナゾール、またはこれらの混合物である実施態様（Ｖ）に記載の方法。
（３２）　前記脱毛治療剤が、前記組成物の全重量に基づいて、約０．００１％乃至約２０％の量で存在している実施態様（Ｖ）に記載の方法。
（ＶＩ）　Ａ．（ｉ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
（ｉｉ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤とにより構成される供給システムと、
Ｂ．有効量の毛髪成長阻害剤とから成る組成物を、当該組成物の全重量に基づいて、毛髪成長阻害を要する所望の領域に人間または動物に対して局所的に投与する工程から成る毛髪成長阻害のための方法。
（３３）　前記毛髪成長阻害剤が抗腫瘍剤、抗凝固薬、抗甲状腺薬、リチウムおよび炭酸リチウム、インターフェロン、レチノイド、抗高脂血症薬、タリウム、水銀、アルベンダゾール（albendazole）、アロプリノール、アミオダロン、アンフェタミン、アンドロゲン、ブロモクリプチン、ブチロフェノン、カルバマゼピン、コレスチラミン、シメチジン、クロフィブレート、ダナゾール、デシプラミン、ジキシラジン、エタンブトール、エチオナミド、フルオキセチン、ゲンタマイシン、金塩、ヒダントイン、イブプロフェン、インプラミン（impramine）、免疫グロブリン、インダンジオン、インドメタシン、イントラコナゾール、レボドパ、マプロチリン、メチセルジド、メトプロロール、メチラポン、ナドロール、ニコチン酸、ポタシウムチオシアネート、プロプラノロール、ピリドスチグミン、サリチレート、サルファサラジン、テルフェナジン、チアンフェニコール、チオウラシル、トリメタジオン、トリパラノール、バルプロン酸、およびこれらの混合物から選択される実施態様（ＶＩ）に記載の方法。
（３４）　前記毛髪成長阻害剤がセリンプロテアーゼ、レチノール、イソトレチノイン、ベータメチゾン、アルファ－トコフェノールおよびこの誘導体、またはこれらの混合物である実施態様（ＶＩ）に記載の方法。
（３５）　前記毛髪成長阻害剤が前記組成物の全重量に基づいて約０．００１％乃至約２０％の量で存在している実施態様（ＶＩ）に記載の方法。
【手続補正９】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８７】
（３６）　さらに洗浄剤から成る実施態様（ＶＩ）に記載の方法。
（ＶＩＩ）　Ａ．（ｉ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
（ｉｉ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤とにより構成される供給システムと、
Ｂ．有効量の老化防止用の活性薬剤とから成る組成物を、当該組成物の全重量に基づいて、所望の領域に人間または動物に対して局所的に投与する工程から成る老化作用を治療または最少にするための方法。

（３７）　前記老化防止用の活性薬剤がサンスクリーン、レチノイドおよびこれらの誘導体、ビタミンおよびこれらの誘導体、酸化防止剤、ヒドロカルボン酸、植物抽出物、またはこれらの混合物から選択される実施態様（ＶＩＩ）に記載の方法。
（３８）　前記老化防止用の活性薬剤がレチノール、トレチノイン、またはこれらの混合物である実施態様（ＶＩＩ）に記載の方法。
（３９）　前記老化防止用の活性薬剤が前記組成物の全重量に基づいて約０．０１％乃至約１０％の量で存在している実施態様（ＶＩＩ）に記載の方法。
（４０）　前記組成物がさらに洗浄剤により構成されている実施態様（ＶＩＩ）に記載の方法。
【手続補正１０】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８８】
（ＶＩＩＩ）　Ａ．（ｉ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
（ｉｉ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤とにより構成される供給システムと、
Ｂ．有効量の抗アクネ用の活性薬剤とから成る組成物を、当該組成物の全重量に基づいて、所望の領域に人間または動物に対して局所的に投与する工程から成るアクネ治療のための方法。
（４１）　前記抗アクネ剤がイミダゾール、レチノイド、サリチル酸、ベンゾイルパーオキシド、抗生物質、抗アンドロゲン剤、５－アルファ－リダクターゼアイソタイプ、抗炎症剤、植物抽出物、またはこれらの混合物から選択される実施態様（ＶＩＩＩ）に記載の方法。
（４２）　前記抗アクネ剤がレチノール、エルビオール、抗生物質、サリチル酸、またはこれらの混合物である実施態様（ＶＩＩＩ）に記載の方法。
（４３）　前記抗アクネ剤が前記組成物の全重量に基づいて約０．０１％乃至約１０％の量で存在している実施態様（ＶＩＩＩ）に記載の方法。
（４４）　前記組成物がさらに洗浄剤により構成されている実施態様（ＶＩＩＩ）に記載の方法。
（ＩＸ）　Ａ．（ｉ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
（ｉｉ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤とにより構成される供給システムと、
Ｂ．有効量の脱色用の活性薬剤とから成る組成物を、当該組成物の全重量に基づいて、所望の領域に人間または動物に対して局所的に投与する工程から成る皮膚脱色のための方法。
（４５）　前記脱色用活性薬剤がレチノイドおよびこれらの誘導体、コウジ酸およびこの誘導体、ヒドロキノンおよびこの誘導体、トランスエキサミン酸、ビタミン、アゼライン酸、植物抽出物、またはこれらの混合物から選択される実施態様（ＩＸ）に記載の方法。
【手続補正１１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１８９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１８９】
（４６）　前記脱色用活性薬剤がコウジ酸、レチノール、ヒドロキノン、トランスエキサミン酸、またはこれらの混合物である実施態様（ＩＸ）に記載の方法。
（４７）　前記脱色用活性薬剤が前記組成物の全重量に基づいて約０．０１％乃至約１０％の量で存在している実施態様（ＩＸ）に記載の方法。

（４８）　前記組成物がさらに洗浄剤により構成されている実施態様（ＩＸ）に記載の方法。
（Ｘ）　Ａ．（ｉ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
（ｉｉ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤とにより構成される供給システムと、
Ｂ．ふけ防止剤、抗脂漏性皮膚炎剤、抗乾癬剤、およびこれらの混合物から成る群から選択される有効量の活性薬剤とから成る組成物を、当該組成物の全重量に基づいて、所望の領域に人間または動物に対して局所的に投与する工程から成るふけ症、脂漏性皮膚炎、および乾癬症の病気および／またはこれらに伴う症状を治療するための方法。
（４９）　前記ふけ防止剤、抗脂漏性皮膚炎剤、および抗乾癬剤が、亜鉛ピリチオン、セレニウムスルフィド、硫黄、スルホン化シェール油、サリチル酸、コールタール、ポビドンヨード、ケトコナゾールのようなイミダゾール、ジクロロフェニルイミダゾロジオキサラン、クロトリマゾール、イトラコナゾール、ミコナゾール、クリンバゾール、チオコナゾール、サルコナゾール、ブトコナゾール、フルコナゾール、亜硝酸ミコナゾール、およびアントラリンのような任意の可能な立体異性体およびその誘導体、ピロクトンオラミン（Octopirox）、セレニウムスルフィド、シクロピロクスオラミン、抗乾癬剤、ビタミンＡ類似体、コルチコステロイド、およびこれらの混合物から選択される実施態様（Ｘ）に記載の方法。
（５０）　前記ふけ防止剤、抗脂漏性皮膚炎剤、および抗乾癬剤が、エルビオール、ケトコナゾール、コールタール、サリチル酸、亜鉛ピリチオン、セレニウムスルフィド、ヒドロコルチゾン、硫黄、メントール、プラモキシンヒドロクロライド、およびこれらの混合物から選択される実施態様（Ｘ）に記載の方法。
【手続補正１２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１９０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１９０】
（５１）　前記ふけ防止剤、抗脂漏性皮膚炎剤、および抗乾癬剤が前記組成物の全重量に基づいて約０．００１％乃至約１０％の量で存在している実施態様（Ｘ）に記載の方法。
（５２）　前記組成物がさらに洗浄剤により構成されている実施態様（Ｘ）に記載の方法。
（ＸＩ）　Ａ．（ｉ）少なくとも１種類の水溶性シリコーン剤と、
（ｉｉ）少なくとも１種類のカチオン性状態調節剤とにより構成される供給システムと、
Ｂ．有効量の脱毛用の活性薬剤とから成る組成物を、当該組成物の全重量に基づいて、所望の領域に人間または動物に対して局所的に投与する工程から成る毛髪除去のための方法。
（５３）　前記脱毛剤がチオグリコレートである実施態様（ＸＩ）に記載の方法。
（５４）　前記脱毛剤が前記組成物の全重量に基づいて約０．００１％乃至約２０％の量で存在している実施態様（ＸＩ）に記載の方法。
（５５）　前記組成物がさらに洗浄剤により構成されている実施態様（ＸＩ）に記載の方法。